



女性消防組織 発足!!

きめ細やかな心で地域を守る



放水訓練、防火服を着てホースを担ぎ筒先を背負い走る

女性ならではの視点や配慮で、町の消防防災力向上を図ることを主眼として発足した多古町女性消防組織「ひまわり隊」。1月9日に行われた多古町消防団出初式で町長と消防団長から委嘱状の交付を受け、2月7日には救命救急や放水訓練等の講習会で消防活動の基本を学びました。

今月号では、消防を取りまく状況と講習会の様子をお伝えするとともに、ひまわり隊の柴田隊長さんに消防活動に対する想いをうかがいました。

女性の参画が地域の消防・防災力向上に

減少する消防団員

人口減少等の影響で、全国的に消防団員の数は減少しています。多古町においても、以前は正団員のほかにも数多くの予備団員が存在し、おおむね35歳になると消防団を卒業するという慣習もありました。しかし、現在、状況は一変し、正団員を確保することもままならないほか、団員の平均年齢は高くなる一方です。このような状況下で、地域防災力のさらなる充実が求められています。(グラフ1参照)

求められる女性の力

消防と言えば「男性の分野」というイメージが強い方も多いと思います。火災



左から、石井さん(つじヶ丘)、岡村さん(染井)、秋山さん(堀ノ尻)、柳川さん(東台)、山倉さん(出沼)、柴田さん(高田)、菅澤さん(二本松)、土屋さん(牛尾)。
※発足後は、及川さん(坂)を加えた9名

消火・救命救急活動の基礎を学ぶ

命を救うために

ケガや病気などの中で最も症状が重く対応に緊急を要するのは、心臓や呼吸が止まってしまう場合です。自分の家族、あるいは街中でこのような命の危機に直面した人に遭遇した場合、少しでも早く救急車を呼び、病院で適切な治療を受けることが大切ですが、119番通報により救急車が現場に到着するまでの時間は、全国平均で約8分かかると言われています。この間、現場に居合わせた人が救命の措置を行うか行わないかで、命が助かる可能性は大きく異なるのです。

2月7日、ひまわり隊の皆さんは、消防多古分署で救命救急処置の基本である心臓

マッサージ・人工呼吸・AEDの使い方を主に、消防器具の説明や小型ポンプによる放水訓練といった消防活動について半日かけて学びました。

反復練習が重要

秋山さん

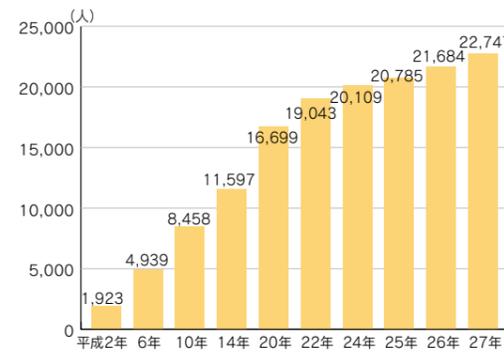
署員の方が丁寧に教えてくれたので、AEDの使い方や心臓マッサージの大切さをはじめ、その必要性や私たちが何をしなければならぬのか、大人と子どもでは対応が違うこと等々、よく理解することができました。また、救命処置の講習では、心臓マッサージが難しく、力も必要で最初はなかなかできませんでした。何度でも繰り返すことで徐々にコツがつかめてきて何とかできるようになりました。



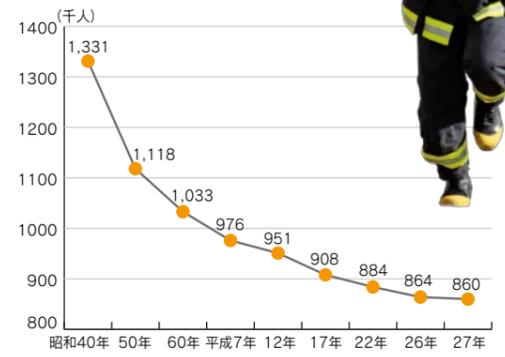
- 1 消火に使われる機器の説明を受ける
- 2 3 実際にホースを伸ばし巻く練習、ホースの重さを実感
- 4 消火器の使い方では、火災現場での注意点も学ぶ
- 5 心肺蘇生法、AEDの説明に真剣に耳を傾ける隊員たち



(グラフ2) 全国における女性消防団員の数



(グラフ1) 消防団員の数



※消防防災・震災対策現況調査より(各年4月1日現在)

生きる力を育みたい



ひまわり隊
隊長 柴田さん

今から20年程前に、おかあちゃんたちの消防団があるというのをテレビのニュースで見たことがあるんです。1年ぐらい前にも、どこかで女性の消防団が発足したというニュースを見て、頑張っているんだな—と思いました。私は、生まれも育ちも嫁ぎ先も多古なんです。だから「多古のために何か自分にもできるかな」と思ったのがきっかけですね。あと、災害時とかで男性にはなかなか話せない女性特有の事ってありますよね。同性にしかわからない事もあるんじゃないかって思ったのがあります。

消防防災活動はもちろんですが、ひまわり隊でやってみたいことは、10代の子もたちに生きる力を持たせたいですね。災害や非常時に、例えば1週間くらいお風呂に入らなくても平気とか、1日や2日水が出なくてもガスが止まっても何とかなるよってね。災害時だけじゃなくて、この先成長して壁にぶつかったときに、「どうってことないよ」って思う強い心、たくましさを身に付けて欲しいと思います。

地域における女性の存在——。女性って、ある意味度胸があるのかな。背中を押す役割って女性なのかなって思います。人間関係も女性の方が広い気もしますね。こういったことも役立つんじゃないでしょうか。

私たちの出番(災害)がないことが本当は一番いいんですけどね。

今後の主な活動内容

ひまわり隊の活動は、町や消防署と一緒に活動計画を協議し、平成28年度から本格的に始まります。定期的な訓練や火災予防の啓発、身に付けた救命救急法を地域で広める活動なども検討されています。

「ひまわり隊」では、一緒に活動してくれる仲間を随時募集しています。詳しくは、お問い合わせください。

お問合せ ● 総務課 交通防災係 ☎ 76-2611